

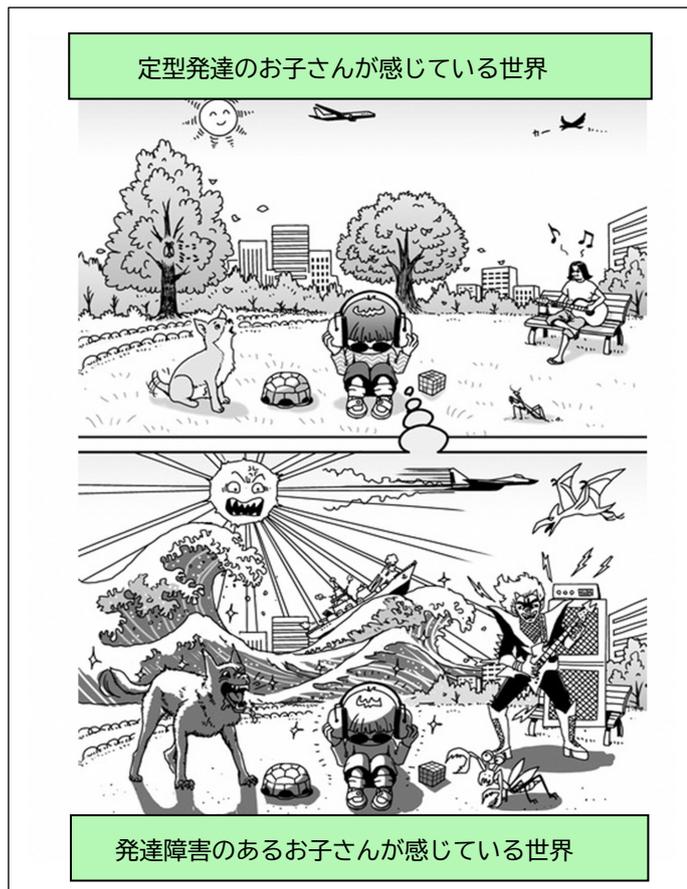
「発達が気になる子どものケアについて」

～理学療法の立場から～

今は、マスコミなどでも多く取り上げられることが多い「発達障害」ですが、一般的に知られるようになったのは比較的最近のことです。2005年4月1日より「発達障害支援法」が施行され、それがきっかけで「発達障害」が広く一般の人にも知られるようになりました。

ところで、発達障害をもつ子どもは、共通して感覚における問題をもっています。それは、刺激に対して非常に敏感であるということです。発達障害の子どもの感覚は非常に過敏であるため、日常の刺激が不快な刺激となり、不安になることがあります。例えば、雨が皮膚にあたる刺激が、毛穴に針を刺されるように感じたり、昼間の光が、まぶしくて、街の様子がハレーションを起こし、白くぼんやりした像としてしか見えなかったりします。

こうした特徴を持つ子供たちに対して、どのようなケアが必要なのか、考えてみたいと思います。



ヒューマンプレス「発達障害の不思議な世界」より

日時：2025年 2月25日（火）

10:00～11:30

場所：あうるすぽっと

対象：○発達が気になるお子様の保護者
また講演に関心のある方
○関係機関職員（区内外問わず）
定員…40名、保育…無し

講師：日本理学療法士協会

中 徹（アール医療専門職大学教授）

新田 收（アール医療専門職大学教授）

竹田 智之（横浜市教育委員会事務局）

深澤 宏昭（相模原療育園）

申込：児童発達支援センターへ

*2月3日より受付

電話 03-6777-0370

メール A0030120@city.toshima.lg.jp

*参加者氏名、ご所属、ご連絡先をお知らせください。

【主催】日本理学療法士協会

【共催】豊島区